

〈未来プロジェクトⅣの取り組み：成果報告〉

第4弾 EICA 未来プロジェクト「若手技術者・研究者交流セミナー」

—— 多次元型ネットワーク形成のために ——

世話役 仲田雅司郎 (株東芝)

田畑 秀樹 (川崎市水道局)

中川 彰利 (株明電舎)

EICA では、2006年の第1弾（関西地区）から、EICA 未来プロジェクト「若手技術者・研究者交流セミナー」を第2弾/第3弾/第4弾（東京地区）と開催してきました。

第4弾も東京地区の若手技術者・研究者の交流を目的として企画され、期間は2008年12月から2009年7月までで、その間に計5回のセミナーを開催致しました。

今回は、全体を通じて東京大学大学院教授の味埜先生を中心にご指導いただき「水・食糧・エネルギー」をテーマの中心に置き、その現状と将来的な課題を踏まえサステナビリティという視点で、議論を深めてきました。

各セミナーでは、産業界・環境分野などでご活躍の「先輩」をお招きし、話題提供という形のご講演を頂き、ご講演後にテーマをご提示頂き、そのテーマについて参加者がグループ討議および発表を行い、発表内容についてご講評を頂いてきました。今回のプロジェクトでは、7名の講師の方々にご講演を頂きました。

第5回のセミナーでは、講演後に、今回の中心テーマ「水・食糧・エネルギー」を基に、5回のセミナーの講演を参考にして4つのテーマを設け、参加者を4チームに分け、個々のチーム毎にプロジェクトの成果をまとめ、9月の中間発表会を経て10月岡山大学で開催された本会研究発表会にて発表いたしました。

未来プロジェクトの目標は、プロジェクトを通じて組織枠・企業枠を越えた参加者間の交流が始まり、将来の仕事および活躍のために有用で新たな人脈（ネットワーク）を形成することです。今回参加されたメンバーが若手技術者・研究者間の2次元人脈ネットワークを作ってゆく機会と捉え、さらにアドバイザーやコーディネータとの交流を3次元人脈ネットワークと位置付け、将来的にはEICAを通じ、分野と世代を超えた多次元ネットワークへと拡大していくことを期待して実施しました。これらの人脈ネットワークは、若手技術者・研究者が環境システム分野の将来を担っていく重要な人材となるものと確信しております。

1. 成果発表テーマ（第22回 EICA 研究発表会発表）

テーマⅠ チーム名： スパイラルE	国内の新エネルギー生産促進とエネルギー自給率向上 野末祥太郎（東京都下水道局）、服部修策（メタウォーター 株）、山田信吾（川崎市水道局）、渡瀬雅也（株タクマ）
テーマⅡ チーム名： チーム SKG	サステナブルな創水について 中原政人（日新電機 株）、大谷壮介（京都大学）、見島伊織（埼玉県環境科学国際センター） 森田賢一（東京都下水道局）
テーマⅢ チーム名： 食量班	ポストグローバル時代に向けた日本人の食に対する意識改革 持田哲宏（東京都下水道局）、岩下真理（株東芝）、梅染俊行（月島機械 株）、小高 勇（東京都下水道サービス 株） 隅倉みさき（株日立製作所）、真野文宏（株神鋼環境ソリューション）
テーマⅣ チーム名： クルクルサイクル	サステナブルなまちづくり 市川尚喜（株明電舎）、柿本貴志（埼玉県環境科学国際センター）、田本典秀（国土交通省） 辻 幸志（日本下水道事業団）、宮尾圭一（株東芝）

2. セミナー実施結果

	日 程	内 容
第1回	12月1日（月） 13:00～17:00	講演「若手技術者への期待」 中里卓治 氏（財下水道新技術推進機構） 講演「サステナビリティ」とは何か 味埜 俊 先生（東大社会文化環境学） グループ討議 発表及び総括
第2回	1月16日（金）～17日（土） （研修施設にて）	《課題発表》:2～3名が事前課題について発表 講演「バイオ燃料政策と持続可能性」 井上雅文 先生（東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材料設計学研究室准教授） グループ討議 グループ毎にディベートの準備 ディベート（バイオ燃料の導入是非）

第3回	4月17日(金)	講演「プレゼンテーションのためのスライドの作り方」 奥野 長晴 先生 (滋賀県立大学名誉教授) 講演「グローバル化時代に食料主権を確立するための戦略」 佐久間智子 先生 (環境・持続社会研究センター理事) グループ討議
第4回	6月22日(月)	講演「水循環研究の未来と水環境技術」 沖 大幹 先生 (東京大学 生産技術研究所教授) グループ討議 (世界の水問題解決と日本の水ビジネス促進に資する技術開発の方向性) 発表および総括
第5回	7月23日(木)	講演「企業や組織はどのようにサステナビリティを考え実行するのか?」 岡本 享二 先生 (プレーメン・コンサルティング(株) 代表取締役社長) 研究発表会の班分け, 研究発表会に向けた説明
中間発表会	10月2日(金)	未来プロジェクト・多次元ネットワーク形成に向けて ・メンバー自己紹介, 発表会の概要・発表形式の説明 Ⅱ, Ⅲ期メンバーから今までの研究発表会発表内容紹介 発表及び意見交換 総括

